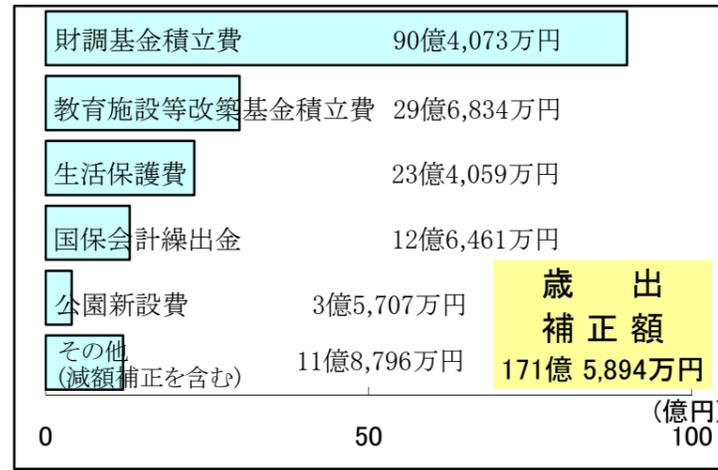
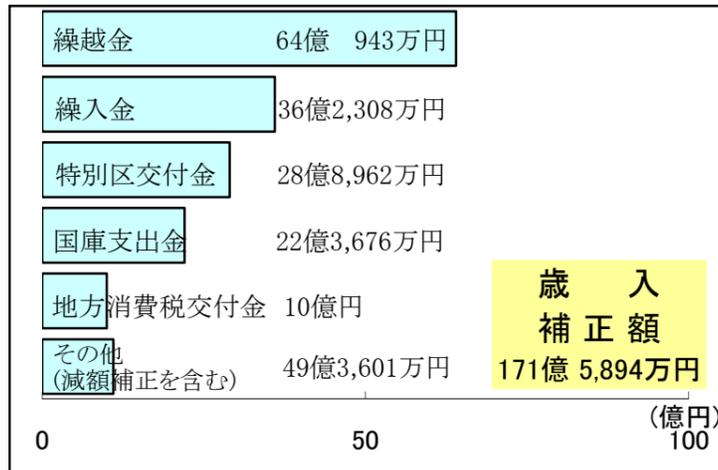


# 財政状況の公表（22年度下半期）概要版

※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

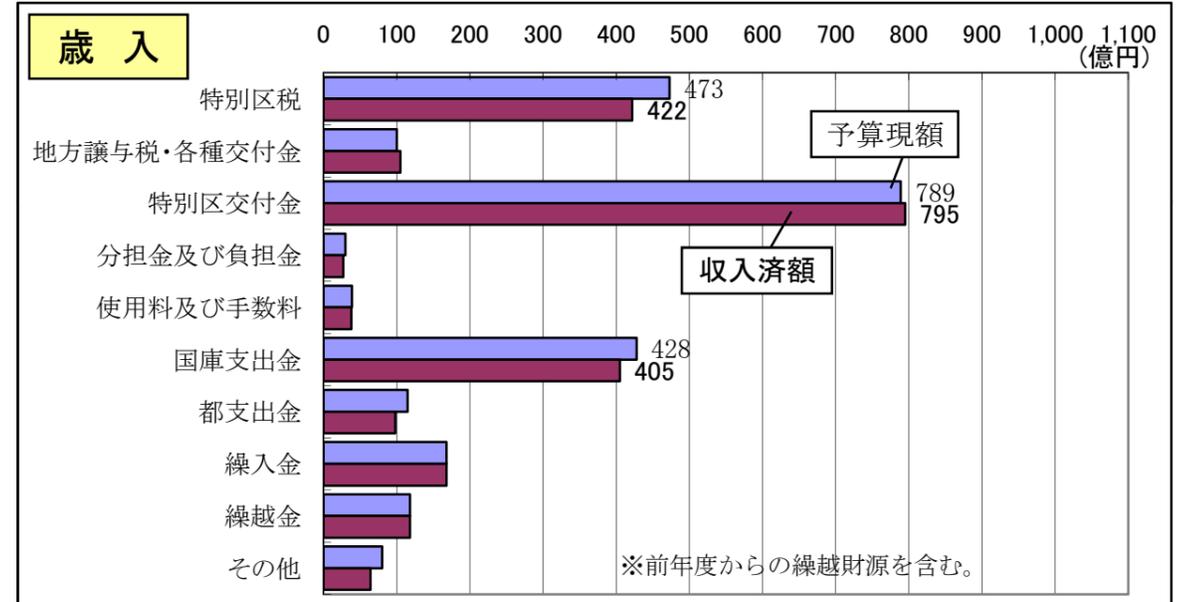
## ① 22年度予算のあらまし

## 一般会計「2号～5号補正」の概要

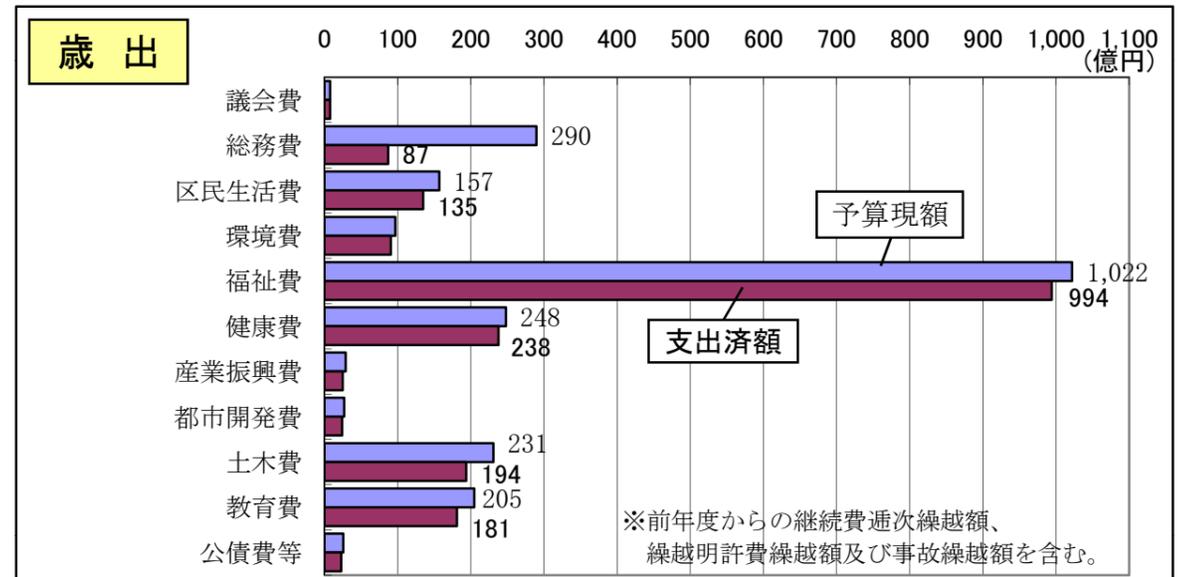
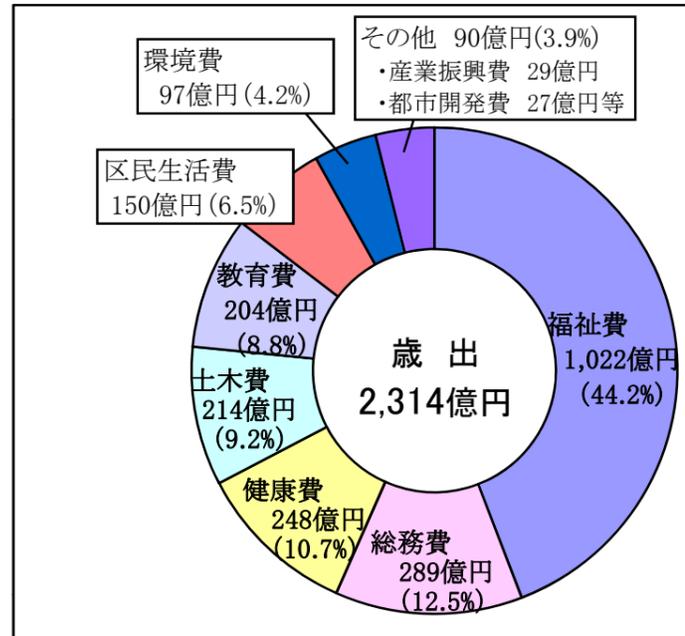
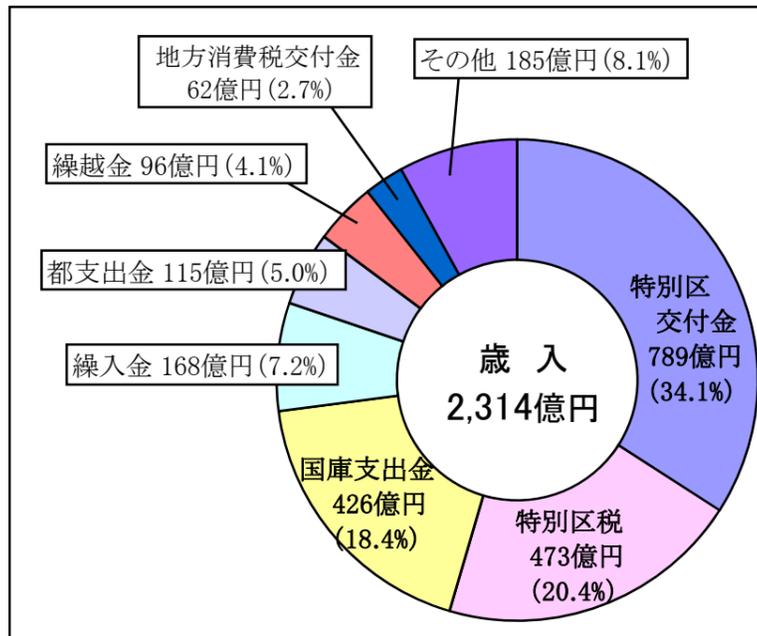


## ② 22年度予算の執行状況

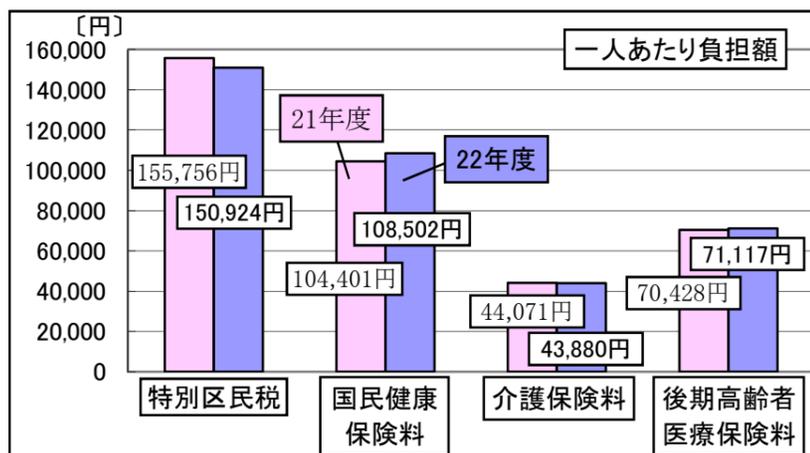
## 一般会計（平成23年 3月31日現在）



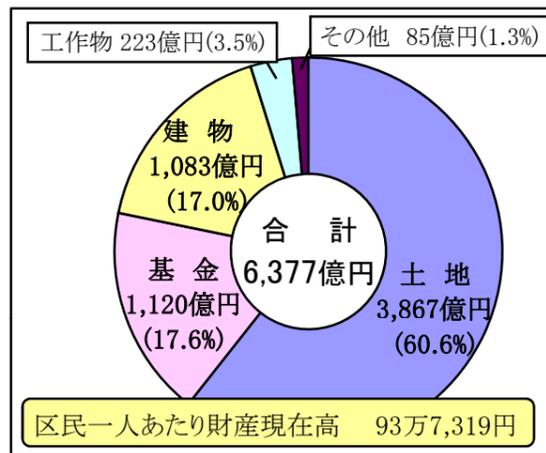
### 補正後の一般会計予算の構成



## ③ 区民の負担概況（平成23年3月31日現在）



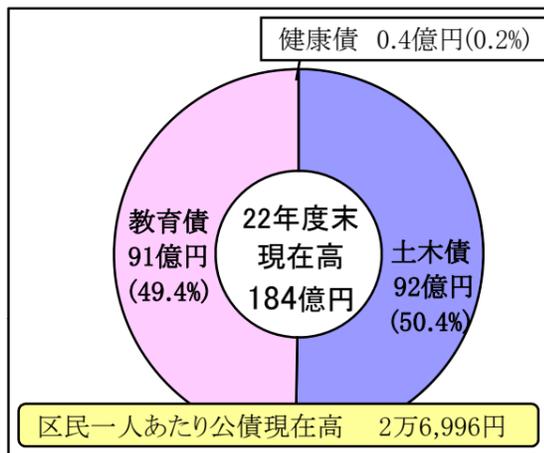
## ④ 財産の現在高（平成23年3月31日現在）



### 基金とは…

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金はこの2つの合計です。  
積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、3月末現在高は920億円です。  
運用基金は、一定額の基金を土地取得のために運用するもので、200億円あります。

## ⑤ 公債の現在高（平成22年度末現在高）

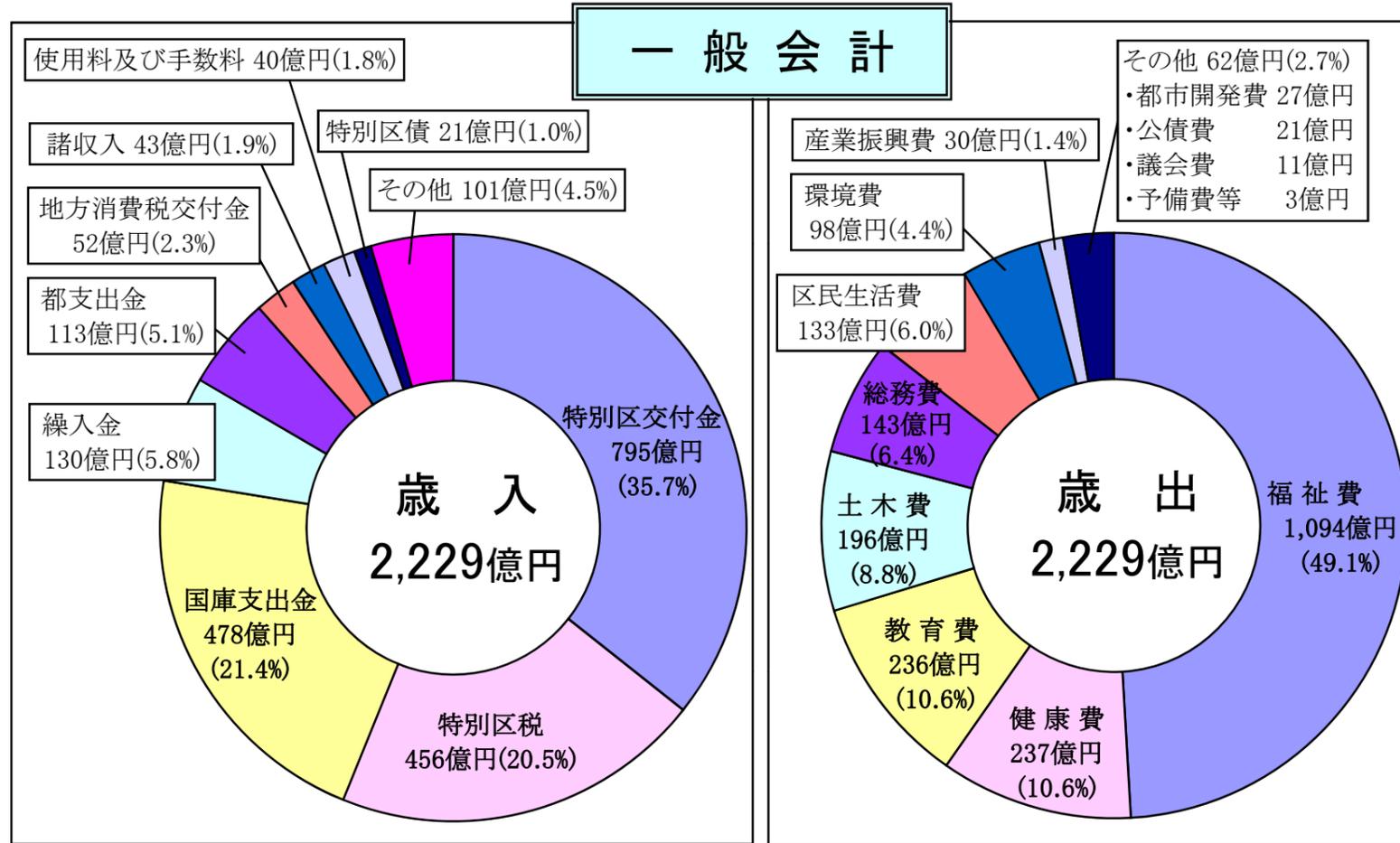


### 公債(区債)とは…

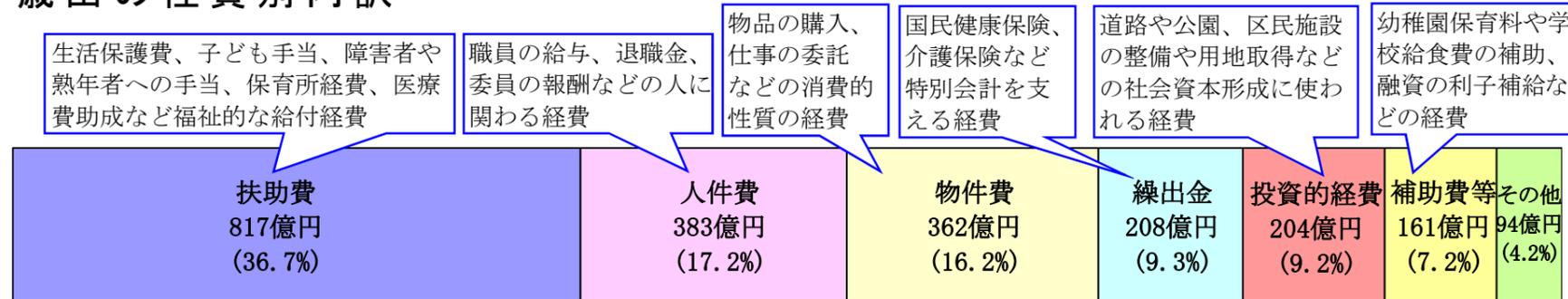
家計でいうと住宅ローンなどの借金です。  
道路整備や学校の大規模改修など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借り入れ、負担の公平を図っています。

# 平成23年度 当初予算の概要

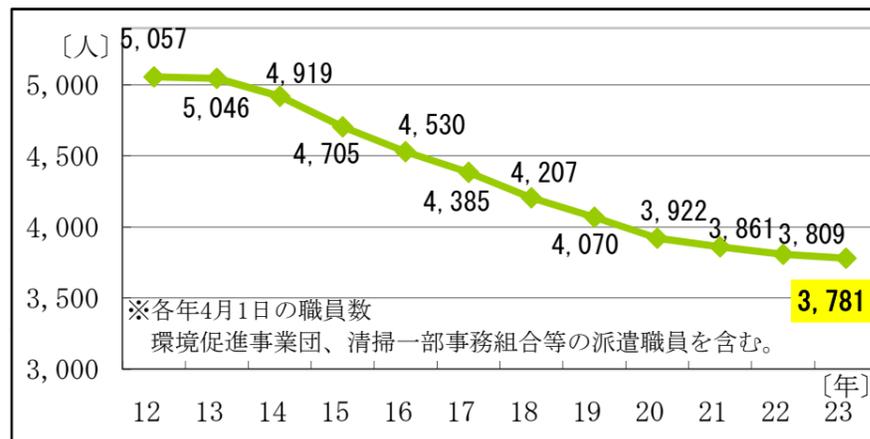
※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。



## 歳出の性質別内訳



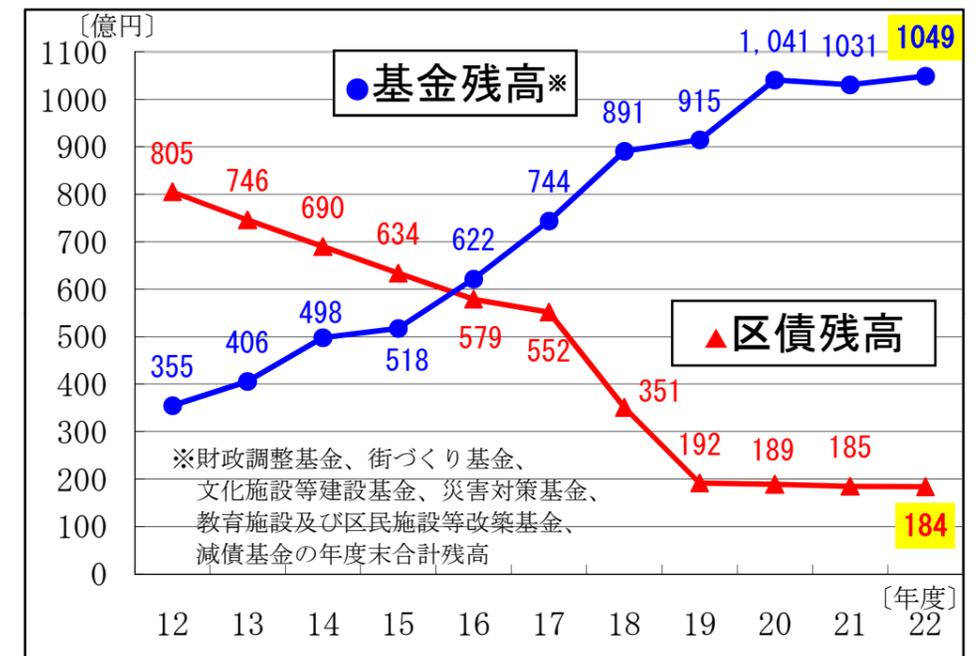
## 職員数の推移



区の職員数は、清掃事業が移管された12年度に5,057人まで増加しましたが、行財政改革などにより、23年度には3,781人となり、10年間で1,276人減少しています。  
この結果、人口千人あたり職員数は、23区の中で2番目に少ない良好な状況となっています。

## おもな新規・拡充・重点事業

- 松江小学校の改築** 23年度予算額 <16億7,654万円>  
築50年を経過し、老朽化した区立の小・中学校を改築します。その1校目にあたるものです。
- 小岩図書館の新築移転準備** <2億9,842万円>  
11万5,000点の蔵書を揃え、地域文化の拠点施設として、24年1月開設を目指し、建設を進めます。
- 新川地区文化施設の建設** <6億9,500万円>  
新川千本桜計画に合わせ、新川の歴史を伝え、地域交流を創出する施設の建設を進めます。
- 国民体育大会（東京国体）の開催準備** <4億2,784万円>  
25年9月に開催予定の東京国体の準備として、実行委員会の設立、会場となる施設整備を行います。
- 高齢者向け優良賃貸住宅の推進** <2億1,754万円>  
60歳以上のひとり暮らしの方または夫婦のみの世帯を対象とした、バリアフリーや緊急時の対応サービスを備えた賃貸住宅の建設費などの補助を行い、高齢者の住居の安全確保を目指します。
- 古着・古布リサイクル移動回収** <132万円>  
区役所など18か所において、移動回収車による古着・古布の回収を行います。
- 密集住宅市街地整備促進事業** <4億2,703万円>  
木造住宅が密集した地域の住環境を向上させるため、道路・公園などの整備を進めていきます。
- 都市計画道路・橋梁の整備** <34億 597万円>  
災害に強いまちをつくるため、区民生活に最も身近な都市計画道路と橋梁を整備します。



区債残高は、18年度及び19年度に繰上償還を実施したため、22年度末で184億円まで減少しました。  
主要積立基金の残高は、「財政調整基金」への積み増しができたことなどにより22年度末では1,049億円になりました。